



アルビレックス新潟後援会

～積み重ねた“想い”と“歴史”～

アルビレックス新潟後援会は、2019年で創設25年を迎え、これまでも多くの会員様とクラブや選手の成長を見守り、支え、共に歩んでまいりました。アルビレックス新潟を愛する皆様のご声援がクラブの飛躍に繋がります。これからもサポートの輪を広げ、チーム・選手を後押ししていきましょう。

活動事例①

— アルビレックス新潟への財政支援事業 —

2019度アルビレックス新潟後援会
個人会員：8,778名 法人会員：834社

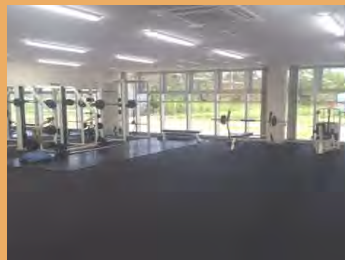
※9月30日時点

アルビレックス新潟への財政支援金：1億円 (見込み)

クラブハウス



トレーニングルーム



オレンジカフェ



バイオデックスシステム



2004年にクラブハウスと専用練習場、オレンジカフェ、選手寮が完成。選手たちがよりサッカーに集中できる環境づくりに皆様のご支援が充てられています。



【FW 14 田中 達也 選手コメント】

クラブハウスや練習場など、サッカーに集中して取り組める環境が後援会員の皆様のご支援で作られていることを知り、選手としてこれ以上ない喜びを感じています。僕たち選手は皆様の温かいサポートにいつも感謝しています。これからもアルビレックス新潟がもっと飛躍するため、チーム一丸となり闘いますので、熱いご声援をお願いいたします。

活動事例②

— 後援会イベント —

■ 地区後援会イベント

クラブをより身近に感じていただくことを目的に、選手とともに各地区に出向いて、交流・触れあいを行なっています。また、ホームゲーム開催時には、選手との触れ合いはもちろん、ピッチサイドでの練習見学、後援会旗・バナーを持ってPRなどを行っています。

■ スワン旗めき隊イベント

選手入場時に後援会旗やチームフラッグをピッチ脇で大きく掲げ、選手たちを鼓舞！会場の雰囲気をサポートの皆様とともに盛り上げます！



選手入場時に後援会旗を大きく掲げ、選手たちに力を！

地区後援会イベントの様子。この日は、戸嶋選手が登場！



活動事例③

— チームを後押しする活動 —

■ アルビレックス新潟激励会



これからの1年、勝利を目指し、ともに闘う気持ちを一つにするイベント。選手たちがシーズンにかける意気込みを語り、後援会員様からは熱いご声援が送られます。

■ クラブオリジナルチームバス



選手たちが試合会場入りに利用するチームバス。こちらのチームバスは会員様、サポーターからの募金で作られました。皆様からの熱い想いを感じ、選手たちは闘いに向かいます。

会員様の声

— 私たちもチームを支えています！ —



長岡地区後援会員 清水陽子様

「長岡から毎試合ビッグスワンに駆けつけています。楽しい時も辛い時も自分の子どもを育てるような気持ちで応援しています。子育てには親の愛情が一番。みんなの愛情と想いでクラブを育てましょう！大きく育てアルビレックス新潟！」



家族全員アルビファン 牧野繁様

「私たち家族はみんなアルビサポーター。」昨シーズン、私たち家族も「We are ONE」「アイシテルニイガタ」のもと応援してきました。もっともっと感動を選手、スタッフ、サポーターと一緒にするため、ともに闘います！行こうビッグスワンへ！感動しようビッグスワンで！ともに闘いましょう！」



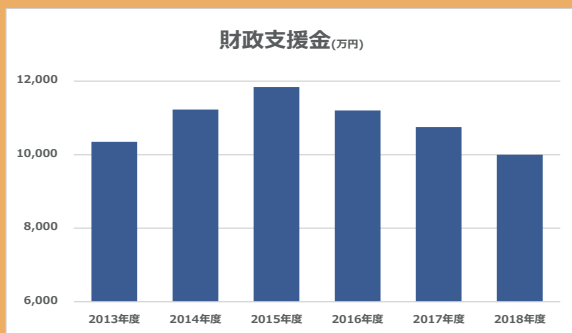
燕市在住の後援会員 川崎栄治様

「アルビレックス新潟からは、いつも楽しさと感動をもらい、後援会に入ってサポーター仲間も増えました。これからも家族と、仲間と一緒にスタジアムで熱い応援を送ります。みんなも一緒に応援しましょう！頑張れアルビ！」

アルビレックス新潟後援会の目標 ~これからも皆様と共に~

目標

■ さらなる会員増・支援拡大へ



昨年度も1億円の財政支援実現！クラブのさらなる発展のため、サポートの輪を広げてまいります。

■ 4万人のスタジアムで大声援を



オレンジ色で染まった4万人のスタジアムは、選手にとって最高の舞台。大声援を送り、チームの勝利を後押ししよう！

後援会は、皆様とともにこれからもアルビレックス新潟の成長を支え続けます。ぜひ、あなたもアルビファミリーとなってアルビレックス新潟をともに応援していきましょう！